

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 101-0061

住 所 東京都千代田区神田三崎町三丁目3番23号

氏 名 株式会社ロジスティクス・ネットワーク

代表取締役社長 盛合 洋行 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社ロジスティクス・ネットワーク		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区東扇島6-15		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業, 郵便業
	中分類	47	倉庫業
主たる事業 の内容	低温物流業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		3,372 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2021 年度 ~ 2023 年度 (報告年度 2023 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2020年度)	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	
排出量 (t-CO2)	(実) 5,675 (調) 5,489	(実) 6,213 (調) 6,159	(実) 6,283 (調) 1,169	(実) 6,135 (調) 0	(実) 5,505 (調)
削減率		(実) -9.5% (調) -12.2%	(実) -10.7% (調) 78.7%	(実) -8.1% (調) 100.0%	(実) 3.0% (調) %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

原単位等の活動量	原単位等の単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標とした値
	(2020年度)	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	
排出量原単位等の値					
活動量の値					-
排出量原単位等の削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	2020年2月に設置した太陽光発電装置が2021年度は順調に稼働し、年間952,114kWhの発電量により東京電力からの買電量の減少により基準年度比で9.5%増加した。
第2年度	2020年2月に設置した太陽光発電装置が2022年度も順調に稼働し、年間854,984kWhの発電量により東京電力からの買電量の減少があったが、排出量は基準年度比で10.7%増加した。
第3年度	2020年2月に設置した太陽光発電装置が2023年度も順調に稼働し、年間885,126kWhの発電量により東京電力からの買電量の減少があったが、基準年度比で8.1%増加した。
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)	当初の予定通り対策を行い、予定していた以上の削減量を得られた。またクレジット購入によるCO2オフセットを行うことで、さらに排出削減、吸収の取り組みを行った。
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	次期計画期間に関して、引き続き太陽光発電による買電力の減少とそれによる温室効果ガス排出量の削減を図る。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>(1)冷蔵室冷凍機効率運転調整 (デフロスト・デフアレンシャル・セーブモード運転の見直し) (2)2期棟L字バース暖気流入防止装置設置による陽圧装置の運転時間の削減 (3)シートシャッター増設工事による外気侵入防止による削減 (4)エアシャルター・オーバードア整備による削減 (5)2期冷蔵庫棟各LED照明更新工事による削減</p>
<p>第1年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2期棟L字バース暖気流入防止装置設置(215㎡-ス～231㎡-ス) ・1期棟L字バース シートシャッター設置(105㎡-ス～112㎡-ス) ・建物付帯設備定期点検実施によるエアージェルター補修作業の実施
<p>第2年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2期棟各階荷捌き室LED照明更新工事(5) ・1期正面バースエアージェルター更新工事(4) ・外構ハロゲン照明LED化工事(追加実施) ・2期棟正面バース暖気流入防止装置設置(201㎡-ス～214㎡-ス)(追加実施)
<p>第3年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1期棟正面バース暖気流入防止装置設置(101㎡-ス～115㎡-ス) ・1期棟各庫内LED照明更新工事 ・1期棟L字バースエアージェルター更新工事(101㎡-ス～115㎡-ス)
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	<p>当初の計画が順調に進み、2期棟のみ計画していた(2)暖気流入防止装置の設置(5)照明のLED化が、1期棟まで完了したことで大幅な温室効果ガスの排出量削減を行うことができた。また、(1)(3)(4)に関しても予定通り進めることで削減目標の達成につながった。</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光発電	冷蔵庫棟屋上 設備容量：818.4kW	2020年度導入

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	無し。
第1年度	無し。
第2年度	無し。
第3年度	無し。

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	1. グリーン購入の徹底。 2. 廃棄物の減容化、リサイクル化。
第1年度	1. グリーン購入の徹底。 2. 廃棄物の減容化、リサイクル化。
第2年度	1. グリーン購入の徹底。 2. 廃棄物の減容化、リサイクル化。
第3年度	1. グリーン購入の徹底。 2. 廃棄物の減容化、リサイクル化。

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	5,675 t-CO ₂	6,213 t-CO ₂	6,283 t-CO ₂	6,135 t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	3,088 KL	3,470 KL	3,452 KL	3,372 KL
事業所の数	3	3	3	3

(2) 事業所等单位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
東扇島物流センター	川崎市川崎区東扇島6-15	5,608	5,224	5,346	5,162

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度